



下野国の史跡・古墳が多く残る、歴史の薫り豊かな街

# 下野市

このページでは、個性豊かな県内各市町をご紹介します。今回は、古墳やかんぴょう生産日本一でも有名な下野市をご紹介します。

下野市は、平成18年1月に河内郡南河内町と下都賀郡石橋町・国分寺町の3町が合併し、市制施行により誕生しました。現時点では、市・町を通じて県内で最も若い自治体となります。

その一方でこの地は、旧石器時代の人の営みの跡が残る古い歴史を誇る地域でもあります。紀元6～7世紀の古墳時代には多くの古墳が築造されており、その一つの甲塚古墳からは、全国でも珍しい機織形埴輪が出土しました。

また、下野市は、「かんぴょう生産量日本一」でも知られてきました。ご存じのとおりかんぴょうは、ユウガオの未成熟の実をひも状にむいて乾燥させた食材です。当地では江戸時代に栽培が始まり、現在、かんぴょうの全国生産量の97%を占め、栃木県が生産量の52.9%を占めます。ふくべ細工（種を採るため成熟するまで育てた実を、種を採った後に乾燥させて使う細工物）など、かんぴょうはさまざまな形で市の特産品として親しまれています。



## 歴史ブームで注目度も大！ 日本初の埴輪も出土した古墳に注目



甲塚(かぶとづか)古墳

下野薬師寺や下野国分寺、下野国分尼寺などの国史跡の残る下野市は、歴史的にも重要度の高い地域ですが、近年、注目をあびているのは紀元6～7世紀の古墳時代に当地の豪族が建設した古墳群です。市内には、今も200基を超える古墳が現存し、貴重な出土品が数多く見つかってきました。

なかでも下野国分寺跡に隣接する甲塚古墳から出土した「機織形埴輪」(機織機の構造が見てとれる、稼働状態に組み上がった埴輪)は日本初の発見で、当時の人々の暮らしや技術を推測するうえで、貴重な資料となっています。

機織りは、『古事記』にも記載のあるとおり、当時の人々にとって神聖な作業であったと考えられます。これまでも各地で実際の機織機の部材とみられる木片が出土してきましたが、木製のため破損も激しく、全体像は不明でした。それが機織形埴輪の出土で明らかになったという意味で、古代史上、画期的な発見です。



機織形埴輪



### ●しもつけ風土記の丘資料館

下野国分寺跡・国分尼寺跡に隣接し、古墳時代から奈良・平安時代にかけての下野の歴史を紹介する施設です。古墳や寺院・官衙跡からの出土品や模型等を展示します。平成27年4月1日に栃木県から下野市に移管されました。

### ●天平の丘公園

幾多の史跡と風土記の丘資料館や民俗資料館などの施設や、周囲を囲む美しい自然林からなる公園(記事左上の写真)です。市内屈指の桜の名所です。



民俗資料館



国分寺跡

### ●下野国分寺跡・下野国分尼寺跡

奈良時代に全国60数か所に建てられた国立の寺院の遺構です。下野国分尼寺は、全国の国分尼寺で最初に整備が行われました。奈良の東大寺と同じ伽藍(寺の建物)の配置で、七重塔などがあつたと推測されます。国指定史跡です。



国分尼寺跡



安国寺

### ●安国寺(下野薬師寺跡)・六角堂

7世紀末の創建で、東大寺・筑紫観世音寺と並ぶ日本三戒壇(僧侶の教育の場)の一つ。9世紀以降に荒廃した後、鎌倉時代に再興され、室町時代に安国寺と改称し今に続いています。戒壇と推定される場所には、江戸末期建立の六角堂があります。国指定史跡です。



六角堂

### ●下野薬師寺歴史館

薬師寺跡から発掘された瓦等の遺物や文献史料、復元模型などを展示します。



### ●グリムの館

グリム童話の森をイメージし、森を活かした公園と、グリム兄弟が生まれたドイツのレッチェンゲン庁舎をモチーフとした建物からなる施設です。各種のイベントや講演会が開催されます。

### ●石橋駅西口広場 カラクリ時計

JR石橋駅西口の広場に立つカラクリ時計はグリム童話にちなんだメルヘンチックなデザインで、童話の登場人物の銅像や名シーンのレリーフが飾られています。



### ●道の駅しもつけ

市のほぼ中心、国道4号線沿いの道の駅で、下野市の産品や地元食材によるグルメが人気です。お菓子教室や地域のコミュニティ施設が充実しています。



## profile

### ●下野市

平成18年1月に誕生した下野市。今年1月には、市制施行10周年を記念して市歌を制定しました。同市一帯は、古くは日光街道の旧宿場町・小金井や石橋を中心に栄えてきた地で、現在も、市を南北に縦貫する国道4号やJR宇都宮線などの交通網に恵まれて、物流拠点としての発展が期待されています。また平野の多い市域は、JR自治医大駅周辺のニュータウンなどのほか、市街地の開発も進んでいます。

- ▶面積：74.59平方km
- ▶人口：60,088人(23,130世帯)

**News**  
**見事！オリンピックでメダル獲得**  
この夏、日本選手のメダルラッシュに沸いた、リオ・オリンピック。なかでも男子柔道は全階級でメダル獲得という快挙を成し遂げましたが、その一翼を担ったのが下野市の出身で、男子60kg級の日本代表・高藤直寿選手です。試合の行われた8月6日夜から7日朝にかけては、市役所1階の市民ロビーにてパブリックビューイングを実施。多くの市民が声援を送りました。



高藤直寿選手